

第13回 千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第13回 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第13回 日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第13回 鳥取県東部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
第15回 鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
第12回 鳥取県西部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
〔同時開催〕

説明資料

日時:令和6年6月5日(水)午後2時00分～

場所:鳥取県中部総合事務所1号館2階講堂(一部オンライン会議併用)

ファイル名・資料名	資料内容
● 01_共通資料1	議事次第、出席者名簿
● 02_共通資料2	説明資料1
● 03_共通資料3	説明資料2
● 04_気象台資料	令和6年出水期の見通し
● 05_国資料1	千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 資料
● 06_国資料2	天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 資料
● 07_国資料3	日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 資料
● 08_県資料1	鳥取県東部地区 流域治水及び減災対策協議会 資料
● 09_県資料2	鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会 資料
● 10_県資料3	鳥取県西部地区 流域治水及び減災対策協議会 資料
● 11_県資料4	大路川流域治水ビジョン

1. 開会

2. 議事

(1) 規約改正等

(2) 令和6年度の出水期の天候の見通しと情報の改善

(3) 令和5年度・令和6年度の減災に係る取組

(4) 二級水系流域治水プロジェクト

(5) 情報提供

(6) 令和5年出水対応に係る意見交換

3. 閉会

(1) 規約改正等について

(1) 規約改正等について

規約の主な改正点

組織改編等による協議会・幹事会構成員の役職変更

①協議会・幹事会構成員 鳥取県危機管理部の組織名および役職変更

国

県

②「減災にかかる取組方針」内 本協議会構成員の組織名の変更

※危機管理局 → 危機管理**部**
※危機管理局長 → 危機管理**部**長
※副局長兼危機管理政策課長 → **次長**兼危機管理政策課長

③幹事会構成員 鳥取県農林水産部の役職変更

県

※農業振興**監** 農地・水保全課長 → 農業振興**局** 農地・水保全課長

④幹事会構成員 鳥取県生活環境部の役職変更

県

※県土整備部 技術企画課長 → 生活環境部 くらしの安心局まちづくり課長

⑤幹事会構成員 鳥取県県土整備部の役職変更

県

※県土整備部**次長** → 県土整備部 河川港湾局長
※県土整備部治山砂防課長 → 県土整備部 河川港湾局 治山砂防課長

(1) 規約改正について

規約の主な改正点

組織改編等による幹事会構成員の役職変更

⑥ 幹事会構成員 鳥取県鳥取県土整備部の役職変更

県

※鳥取県土整備事務所計画調査課長	→	鳥取県土整備事務所副所長兼計画調査課長
※八頭県土整備事務所建設総務課 計画調査室長	→	八頭県土整備事務所 副所長兼計画調査課長

⑦ 幹事会構成員 鳥取県中部総合事務所の役職変更

県

※鳥取県中部総合事務所県土整備局 計画調査課長	→	鳥取県中部総合事務所県土整備局 副局長兼計画調査課長
----------------------------	---	-------------------------------

⑧ 幹事会構成員 鳥取県西部総合事務所の役職変更

県

※鳥取県米子県土整備局計画調査課長	→	鳥取県西部総合事務所米子県土整備局 副局長兼計画調査課長
※鳥取県米子県土整備局河川砂防課長	→	鳥取県西部総合事務所米子県土整備局 河川砂防課長
※鳥取県日野県土整備局 建設総務課計画調査室長	→	鳥取県西部総合事務所日野振興センター 日野県土整備局副局長兼計画調査課長
※鳥取県日野県土整備局河川砂防課長	→	鳥取県西部総合事務所日野振興センター 日野県土整備局河川砂防課長

(1)規約改正について

規約の主な改正点

- 組織改編による協議会・幹事会構成員の役職変更等

⑨幹事会構成員 役職変更、課名追記

国

県

※三朝町総務課参事→ 三朝町総務課参事兼危機管理局長

⑩幹事会構成員 追加

県

※北栄町産業振興課長

⑪幹事会構成員 追加

県

※米子市都市整備課長

⑫幹事会オブザーバー 鳥取県生活環境部の組織名変更

県

※生活環境部くらしの安心局水環境保全課→生活環境部自然共生社会局水環境保全課

⑬幹事会オブザーバー 農林水産省 中国四国農政局の役職変更

県

※農林水産省中国四国農政局設計課 水利計画官 → 農林水産省中国四国農政局設計課 事業計画管理官

⑭事務局構成員 鳥取県県土整備部河川課の役職変更

国

県

※鳥取県県土整備部河川課 → 鳥取県県土整備部河川港湾局河川課

(2) 令和6年出水期の天候の見通しと情報の改善について

気象台資料を用いて説明

(3) 令和5年度・令和6年度の減災に係る取組

千代川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会 資料

国土交通省 中国地方整備局
鳥取河川国道事務所



国土を**整**え、全力で**備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

千代川水系減災対策協議会 これまでの検討経緯

第1期
平成28年7月
平成28年8月

- 第1回減災対策協議会：「千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」設立
- 第2回減災対策協議会：「千代川流域の減災に係る取組方針」の策定（第1期）

【3本柱（第1期）】

- ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- ②生命と財産を守る水防活動と日常生活を取り戻すための排水活動の強化
- ③地域住民の防災意識向上と防災関係者の災害対応能力向上を目的とした防災研修の拡充

平成29年5月
平成29年6月
平成30～31年
平成31年1月
令和元～2年

- 第3回減災対策協議会：平成28年度取組フォローアップ
- 緊急行動計画とりまとめ（国土交通省）
- 第4回・第5回・第6回減災対策協議会：平成29～30年度取組フォローアップ
- 緊急行動計画改定（国土交通省）
- 第7回・第8回減災対策協議会：令和元～2年度取組フォローアップ

第2期
（現在）
令和3年6月

- 第9回減災対策協議会：「千代川流域の減災に係る取組方針」の改正（第2期）

【3本柱（第2期）】

- ①円滑かつ迅速な避難のための取組
- ②被害軽減の取組
- ③氾濫水の排除、浸水被害軽減に関する取り組み

令和3年10月
令和4年5月
令和5年6月

- 第10回減災対策協議会：令和2年度フォローアップ
- 第11回減災対策協議会：令和3年度フォローアップ
- 第12回減災対策協議会：令和4年度フォローアップ

本日
令和6年6月

- 第13回減災対策協議会：令和5年度フォローアップ

取組1 地域防災力の向上

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

㊦要配慮者利用施設・関係各課と連携した、情報伝達訓練や避難訓練、講習会の計画の検討

- 令和4年度は、鳥取市の要望から選定された要配慮者利用施設3箇所(モデル施設※)において、より分かりやすい避難行動計画(タイムライン)の策定や避難訓練の実施を支援。
- 令和5年度は、令和5年台風第7号の出水対応についてモデル施設へのヒアリングやタイムラインの活用状況を確認。
- 「計画策定時の議論から**避難行動の前倒しを実施(うぶみ苑)**」「**防災意識が高まっている(大正保育園)**」などタイムラインの活用や意識向上に関する意見が挙げられた。

※「うぶみ苑 グループホーム南安長」(障がい者関係施設)、「ウイズユーフレズ・ウイズユーフレッシュ」(障がい者関係施設)、「大正保育園」(児童関係施設)。

うぶみ苑グループホーム南安長 避難行動計画(タイムライン) 実践面				気象情報や避難情報はあくまで避難の等の状況を確認し、命を守るために	
警戒レベル	警戒レベル相当情報 (気象情報等) (気象台等が発表)	千代川水位	鳥取市	体制と情報収集	利用者等の避難対応
1				日頃からの備え ◆職員及び施設利用者名簿の作成 ◆災害時の役割の明確化	日頃からの備え ◆施設休業基準の策定 ◆利用者家族への連絡方法の検討
警戒レベル2相当	・大雨注意報 ・洪水注意報			体制の構築 ◆注意対応の判断・周知 【施設長・施設長代行】 ・体制に関する周知 ・福祉会本部等への報告	利用者家族等への連絡 ◆利用者家族等への事前連絡 【情報班】 ◆問い合わせへの対応 【情報班】 ・利用者家族から、避難等に関する問い合わせがあった場合、随時対応
				情報収集 ◆気象情報等の把握 【防災管理・防災管理代行】 ・インターネット等で情報を収集する ※警戒レベル 早期注意情報 【キキクル】 ◆河川水位の把握 【情報班】	利用者の避難① ◆避難準備 【避難訓練班】 ・安全な避難経路を確認 ・緊急避難が困難な場合は河川から離れた堅牢な建物の2階等への避難を判断 ・公用車の準備 避難開始 うぶみ苑教養訓練棟へ避難 (状況次第では、鳥取市立城北小学校へ避難) ◆利用者の健康管理 【避難訓練班】 ・利用者の健康状態を把握 ・必要に応じて医療機関への搬送を要請
警戒レベル3	千代川氾濫注意情報	行徳水位観測所 4.7m 遊尾水位観測所 3.2m	要配慮者高齢者等避難	警戒配備体制 ◆警戒配備体制の判断・周知 【施設長代行】 ・体制に関する周知 ・職員の人数把握 ・利用者の体制把握 ◆災害配備体制に向けた準備 【施設長代行】	

□令和5年台風第7号での対応
 計画作成時の議論通り、警戒レベル2で避難を開始した。
 ○警戒レベル3での避難開始は、遅いと改めて感じた。

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

- ⑦住民、福祉施設入所者等の避難行動要支援者、道路・交通管理者、民間企業、マスコミ、ダム管理者等と連携したタイムラインの運用
- ⑧タイムラインの時系列に基づく実践的な訓練の実施

■ポータルサイトの改良①

令和4年10月の検討会で出た要望を令和5年度に実施

(要望)画面分割したサイトが小さくて見づらい ⇒5分割から3分割へ変更

改良前



範囲が狭く必要な情報が見づらい

改良後



視認性が向上し情報が見やすくなった

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

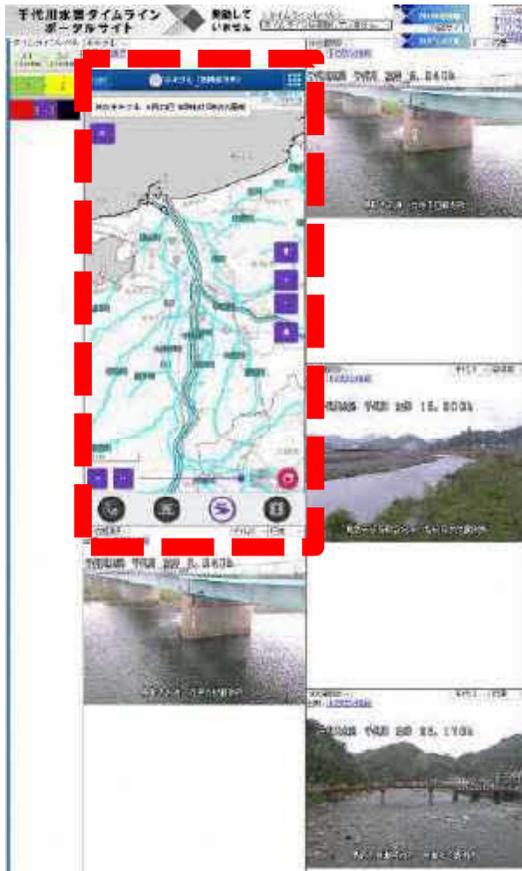
- ⑦住民、福祉施設入所者等の避難行動要支援者、道路・交通管理者、民間企業、マスコミ、ダム管理者等と連携したタイムラインの運用
- ⑧タイムラインの時系列に基づく実践的な訓練の実施

■ポータルサイトの改良②

令和4年10月の検討会で出た要望を令和5年度に実施

(R4年度要望)スマートフォンの画面では、複数の情報を一度に見ると小さくて見づらい

⇒必要な情報を一つだけ選択して表示できるように改良



スマホの画面では表示が小さくて見づらい



タイムラインレベルを見やすく改良

一つの情報に限定

ボタンによりその他の情報を選択可能

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

- ⑦住民、福祉施設入所者等の避難行動要支援者、道路・交通管理者、民間企業、マスコミ、ダム管理者等と連携したタイムラインの運用
- ⑧タイムラインの時系列に基づく実践的な訓練の実施

第11回タイムライン検討会(対面)【情報伝達訓練】

- 日時: 令和5年7月27日
- 目的: ポータルサイトの操作方法の習得、タイムラインレベルと実施項目の確認(情報伝達訓練)
- 参加機関: 20機関(気象台や自治体、警察、消防、インフラ企業(鉄道・バス・電力・ガス・通信)など)、
- 内容: ①各機関が発信する情報の共有、②自機関の実施すべき行動の確認
- 成果: **ポータルサイトを実際に操作・習得。読み合わせにより、各機関がタイムラインレベルに応じた行動を確認。**



ポータルサイトの操作



情報伝達訓練の実施状況

◇情報伝達訓練で対象とした実施項目

訓練 No.	実施項目		発信機関	TL2	TL3	TL4	TL5
1-1	水防警報の実施	水防警報の発令	鳥取河川国道事務所 河川管理課	○			
1-2		水防警報の情報受け、 水防団への指示(出動)	鳥取市	○			
2-1	避難情報の発令	避難指示の発表	鳥取市		○		
2-2		避難誘導の実施	智頭警察署		○		
3-1	計画運休の実施	運行停止	西日本旅客鉄道			○	
3-2	交通情報の報道	交通情報の速報対応	報道(事務局代読)			○	
4-1	指定河川洪水予報 (氾濫発生情報) の実施	関係機関への連絡	鳥取地方気象台				○
4-2		住民への周知	消防局 警防課				○

取組2 千代川水害タイムライン

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

⑦住民、福祉施設入所者等の避難行動要支援者、道路・交通管理者、民間企業、マスコミ、ダム管理者等と連携したタイムラインの運用

○水防に係わる必要な情報がポータルサイトから効率的に入手できるように工夫

タイムラインの情報
発信内容から情報
を入手できる

情報発信内容一覧表

情報発信項目	件数	発信内容	発信標準	公開場所	発信機関
避難情報の発令・提供	188	-避難情報の発令状況	-指定河川洪水予報 -水保到達情報 -堤防の決壊に繋がる濁水や亀裂の発見 -浸水拡大や床上浸水	-鳥取市HP「避難情報発令一覧」	-鳥取市
	311				
	418				
	584				
避難所の開設	245	-避難所の開設状況	-災害の状況を考慮した上で開設	-鳥取市HP「開設避難所一覧」	-鳥取市
	248				
	356				
	458				
ダム放流・操作情報の確認	119	-ダム放流情報	-貯水位	-中国地方整備局 ダム防犯情報システム(総ダム)	-鳥取河川国道事務所 -総ダム管理支庁
	172				
	282				
	410				
鉄道の運行停止	254	-鉄道の運行停止状況	-一定時間の大雨または長時間の雨 -一定以上の強風	-JR西日本 列車運行情報	-JR西日本
	387				
	478				
	590				
バスの運行中止	454	-バスの運行中止状況	-一定時間の大雨または長時間の雨 -一定以上の強風	-日本交通株式会社鳥取エリア -日ノ丸自動車株式会社	-日本交通株式会社 -日ノ丸自動車株式会社
	556				
	114				
	176				
通行止め情報の確認	287	-通行止め情報	-建設基準雨量への到達 -土砂崩落の恐れ -道路冠水	-中国地方整備局 道路情報提供システム -ハイウェイ交通情報 -鳥取県HP「通行規制情報一覧」	-鳥取河川国道事務所 -NEXCO西日本 -鳥取県
	402				
	530				
	530				
沿岸の発生情報の確認	147	-内水氾濫の発生情報 -堤防の決壊・氾濫発生状況	-氾濫の発生 -指定河川洪水予報(氾濫発生情報)の発表	-気象庁HP(指定河川洪水予報) -川の防災情報	-鳥取河川国道事務所 -鳥取市水防部
	520				

HPリンク集

■ 河川・気象・ダム情報

- 国交省 川の防災情報
「河川」水害による災害対策ポータルサイト
- 河川に関する情報
- 川の防災情報
- 川の水位情報
- 気象庁 指定河川洪水予報
- 鳥取県リアルタイム雨量
→河川・道路・カメラ情報
- 気象に関する情報
- 気象庁
 - 天気図
 - 天気予報
 - 気象情報
 - 気象衛星
 - 気象情報
 - 気象情報・注意報
 - 風向風速

■ 災害・避難情報

- 災害・被害に関する情報
- 内閣府
- 法務省
- 国土交通省
- 国土交通省 中国地方整備局
- 鳥取河川国道事務所
- 鳥取県
 - あんしんトリビーなび
 - とっとりwebマップ
- 鳥取市
- 八重町
- 新温泉町
- 若桜町
- YAHOO! JAPAN (避難情報)
- 土砂災害に関する情報
- 国土交通省
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 鳥取県土砂災害警戒情報システム
- 避難・救護の情報
- 鳥取県警察
 - 鳥取県警察
 - 警備警察署
 - 警察署警察署
 - 陸上自衛隊
 - 赤十字社
 - 鳥取県東部広域行政事務組合

■ 道路・交通情報

- 道路に関する情報
- NEXCO西日本グループ
 - ハイウェイ交通情報
- 国土交通省 中国地方整備局
 - 道路情報提供システム
- 国土交通省
 - 道路防災情報
 - 道路防災情報WEBマップ
(道路に関するハザードマップ)
- 鳥取県
 - 通行規制情報一覧
 - 公益財団法人日本道路空間情報センター
道路に関する情報提供システム
- 交通に関する情報
- JR西日本
 - 中国エリア運行情報
- 日本交通株式会社
- 日ノ丸自動車株式会社
- ライブライン情報
- 中国電力
- 鳥取ガス(エネトピア)
- NTT西日本

■ メディア情報

- 放送局等の情報
- NHK
- 日本テレビジョン放送
- 山陰放送
- 山陰中央テレビジョン放送
- 日本ケーブルネットフーク
- いなば放送局びよんネット
- 新聞社の情報
- 毎日新聞社
- 読売新聞社
- 日本経済新聞社
- 朝日新聞社
- 新日本新聞社
- 山陰中央新報社
- 海洋に関する情報
- 気象庁
 - 海上警報
 - 日別海面水温
 - 水位観測
 - 波浪観測
- 海上保安庁海洋情報部
 - 潮流・潮道情報
- 国土交通省 中国地方整備局
 - 水位情報
- リアルタイム ナウファス
(国土交通省鳥取県 全国港湾海洋防災情報)
- ナウファス 波波予報
→ 海洋状況表示システム

各情報をクリック
することでサイトへリ
ンクします。

河川、気象、ダムな
ど各機関のもつ情報
から情報入手できる

16

4.防災施設の整備等

④フラップ化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。

○令和5年度は、袋川の湯所第2樋門の無動力化を実施。
今後も、順次無動力化を実施する。

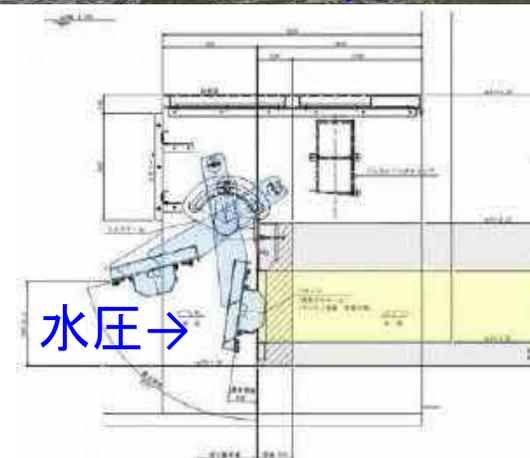
改良前



改良後



スライドゲートから、水位により自動で門扉が開閉するフラップゲートに変更することで、
操作員による操作が不要な省労力化の施設に改良



■ソフト対策

1. 多機関連携タイムラインの連携強化と訓練の実施
2. 要配慮者施設のタイムライン作成支援
3. 小学校などへの水害(防災)教育の拡充
4. 水防資機材の整備と情報共有
5. 排水施設の操作説明会
6. 排水ポンプ車による排水訓練

■ハード対策

1. 津波浸水リスク地域の樋門等の自動化・遠隔化の検討
2. 樋門等の無動力化(フラップ)

天神川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会 資料

国土交通省 中国地方整備局
倉吉河川国道事務所



国土を**整**え、全力で**備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

これまでの検討経緯

- 令和2年度に、取組方針策定時の当初対象期間とした概ね5年が経過した。
- 天神川においては、多くの取組項目が完了しているが、緊急行動計画の改定の項目のうち、一部、未完了の項目や継続して実施すべき避難訓練等の項目が存在した。
- 現在までの取組状況や水防災に係る近年の動向を踏まえて、概ね5年（令和3年～7年度）に実施する取組を設定した。



■ソフト対策

1. 多機関連携型タイムラインの運用
2. まるごとまちごとハザードマップの実施
3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
4. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及
5. 小学校を対象とした防災教育の実施
6. 合同点検・操作訓練の実施

■ハード対策

7. 排水対策の実施
8. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

1. 多機関連携型タイムラインの運用

- 令和5年度は、小田水位観測所(天神川)や三朝水位観測所(三徳川)において、避難判断水位を超過する出水が発生したものの、**越水・溢水等による浸水被害は生じなかった**ため、令和5年6月の顔合わせ・読み合わせに加えて、令和6年2月に出水期でのタイムライン運用を踏まえたタイムライン見直し(案)の確認を実施した。
- 具体的に、タイムライン見直し(案)としては、**運用支援システムの改良方針の提示**を行った。

令和5年
6月6日

第11回検討会（令和5年第1回検討会）

□顔合わせ、タイムライン修正版を踏まえた読み合わせ 等

実際の出水での運用
・令和5年台風第7号



令和6年
2月2日

第12回検討会（令和5年第2回検討会）※

□振り返りアンケート結果、運用支援システム改良方針 等

※書面開催



令和5年度 第1回 天神川水害タイムライン検討会の様子

【関係機関からの主な意見】

- 天神川水害タイムラインのホットライン運用について、現在は、緊急時に県危機管理局が主導してオンラインで常時接続すると聞いたが、ここはそのように読み替えたらいいか。松江地方気象台や関係機関とも情報共有できる場と認識している。

【座長講評】

- 線状降水帯が発達すると、タイムラインレベルが「0」や「1」からではなく、「2」や「3」から始まる場合がある。タイムラインレベルが上がるほど時間的な余裕はなくなるので、本検討会で配布した資料を確認して自機関が何をしなければならないのかを把握していただきたい。タイムラインレベルの立ち上げと解除については、倉吉河川国道事務所からメールにより案内があるため留意いただきたい。
運用支援システムについて、本検討会では説明ができなかったが、掲載内容の理解はそこまで難しいないので、出水時に円滑な運用ができるように担当者の方は平時から運用支援システムの習熟を行っていただきたい。

1. 多機関連携型タイムラインの運用

▶ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

①河川水位とカメラ画像が同時に確認できるように運用支援システム(水位が分かる)を改修

②外部サイトのリンク追加(樋門情報提供システム、とっとり雪みちNavi)

The screenshot displays the '水位が分かる' (Water Level Information) system interface. It features a sidebar on the left with two main sections: '現在の状況' (Current Status) and '過去の状況' (Past Status). The '現在の状況' section includes a map titled '【河川状況の把握(川の水位情報)】' (Understanding River Status (River Water Level Information)) and a '洪水危険度を把握(水害リスクライン)' (Understanding Flood Risk (Water Damage Risk Line)) section. The main content area shows a dropdown menu for '水位: 竹田橋 (天神川736)' (Water Level: Takekida Bridge (Tennogawa 736)) and a '表示' (Display) button. Below this is a '水害リスクライン' (Water Damage Risk Line) table and a corresponding graph. The table lists various risk levels and their corresponding water levels. The graph shows the current water level and the risk lines over time. On the right side, there is a vertical navigation menu with icons for 'TOP画面へ' (Back to Top Screen), '水位が分かる' (Water Level Information), '国土地理院' (Geospatial Information Authority of Japan), '自治体別' (By Municipality), '気象情報' (Weather Information), '官報の通知' (Official Notifications), and '停電情報' (Power Outage Information). At the bottom, there are two camera images: '【現在の様子】' (Current Situation) and '【平常時の様子】' (Normal Situation). The '平常時の様子' image is highlighted with a red box and labeled '追加' (Addition). The '平常時の様子' image shows the '天神川' (Tennogawa) and '倉吉大橋' (Kurayoshi Bridge) with a '2021.8.4 撮影' (Shot 2021.8.4) timestamp.

種類	水位 (m)
13-40	1.02+
13-30	1.03+
14-00	1.03+
14-10	1.03+
14-20	1.03+
14-30	1.03+
14-40	1.03+
14-50	1.03+
15-00	1.03+
15-10	1.03+
15-20	1.03+
15-30	1.03+
15-40	1.03+
15-50	1.03+
16-00	1.03+
16-10	1.03+
16-20	1.03+
16-30	1.03+
16-40	1.03+
16-50	1.03+
17-00	1.03+
17-10	1.03+
17-20	1.03+
17-30	1.03+
17-40	1.03+
17-50	1.03+
18-00	1.03+
18-10	1.03+
18-20	1.03+
18-30	1.03+
18-40	1.03+
18-50	1.03+
19-00	1.03+
19-10	1.03+
19-20	1.03+
19-30	1.03+
19-40	1.03+
19-50	1.03+
20-00	1.03+
20-10	1.03+
20-20	1.03+
20-30	1.03+
20-40	1.03+
20-50	1.03+
21-00	1.03+
21-10	1.03+
21-20	1.03+
21-30	1.03+
21-40	1.03+
21-50	1.03+
22-00	1.03+
22-10	1.03+
22-20	1.03+
22-30	1.03+
22-40	1.03+
22-50	1.03+
23-00	1.03+
23-10	1.03+
23-20	1.03+
23-30	1.03+
23-40	1.03+
23-50	1.03+
24-00	1.03+
24-10	1.03+
24-20	1.03+
24-30	1.03+
24-40	1.03+
24-50	1.03+
25-00	1.03+
25-10	1.03+
25-20	1.03+
25-30	1.03+
25-40	1.03+
25-50	1.03+
26-00	1.03+
26-10	1.03+
26-20	1.03+
26-30	1.03+
26-40	1.03+
26-50	1.03+
27-00	1.03+
27-10	1.03+
27-20	1.03+
27-30	1.03+
27-40	1.03+
27-50	1.03+
28-00	1.03+
28-10	1.03+
28-20	1.03+
28-30	1.03+
28-40	1.03+
28-50	1.03+
29-00	1.03+
29-10	1.03+
29-20	1.03+
29-30	1.03+
29-40	1.03+
29-50	1.03+
30-00	1.03+
30-10	1.03+
30-20	1.03+
30-30	1.03+
30-40	1.03+
30-50	1.03+

「水位が分かる」の改修イメージ

1. 多機関連携型タイムラインの運用

▶ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

① 河川水位とカメラ画像が同時に確認できるように運用支援システム(水位が分かる)を改修

② 外部サイトのリンク追加(樋門情報提供システム、とっとり雪みちNavi)

倉吉河川国道事務所 樋門情報提供

樋門情報一覧
 <現況情報> 2023/12/12 10:10 現在

番付行政名	施設名	観測水位 (内水位)	新基準水位									
			樋門・樋管水位 (m)			堰脚観測内水位 (m)						
			観測水位	操作水位	退避水位	観測所名	観測水位	退避水位	観測所名	観測水位	退避水位	
湖東郡	1	板瀬排水樋門	2.10 ▲	1.13	1.36	2.22	板瀬	2.00 ▲	2.10	小田	3.52	7.80
北栄町	2	東新田排水樋門	1.05 ▬	1.14	1.38	2.33	板瀬	2.00 ▲	2.10	小田	3.52	7.20
	3	江北排水樋門	5.89 ▲	1.78	2.54	5.86	小田	3.52	3.20	小田	3.52	7.20
美郷	4	北田川排水樋門	2.45 ▼	3.36	4.62	5.40	小田	3.52	5.80			
倉吉市	5	冠井排水樋門	0.21 ▬	0.43	2.04	4.06	小田	3.52	3.90			
三朝町	6	大瀬排水樋門	0.89 ▬	1.09	1.70	2.46	竹田橋	3.27 ▼	4.80			
倉吉市	7	玉川下流排水樋門	0.10 ▼	0.20	1.50	4.32	小田	3.52	2.20			
	8	玉川上流排水樋門	1.65 ▬	1.64	2.07	5.66	河原町	1.28 ▲	1.40			
	9	松尾排水樋門	0.37 ▬	0.38	1.70	4.34	河原町	1.28 ▲	1.80			
三朝町	10	大瀬排水樋門	0.22 ▬	0.52	1.50	3.52	竹田橋	3.27 ▼	4.50			
	11	野田排水樋門	0.64 ▬	0.70	2.07	4.57	-	-	-	-	-	-

倉吉河川国道事務所 樋門情報提供

天神川0k300L 東新田場排水樋門
 <現況情報> 自動更新

内水位: 2.33m (2023/11/11 10:10現在) ▲

外水位: 1.88m (2023/11/11 10:10現在) ▲

流速: 0.50m/s (2023/11/11 10:10現在) ▲

流向: 堤内地側 → 天神川 (2023/11/11 10:10現在)

状態: 正常 (2023/11/11 10:10現在)

退避水位: 2.33m (2023/11/11 10:10現在) ▲

操作水位: 1.38m (2023/11/11 10:10現在) ▲

警備水位: 1.14m (2023/11/11 10:10現在) ▲

<履歴情報>

時刻	内水位	外水位	流速	流向	状態
11/11 10:00	1.38 ▲	1.87 ▬	0.4 ▲	堤内地側 → 天神川	正常
11/11 9:50	1.14 ▲	1.87 ▬	0.3 ▬	堤内地側 → 天神川	正常
11/11 9:40	1.13 ▬	1.87 ▼	0.3 ▼	堤内地側 → 天神川	正常
11/11 9:30	1.13 ▬	1.88 ▬	0.4 ▬	堤内地側 → 天神川	正常
11/11 9:20	欠測	欠測	欠測	不明	故障
11/11 9:10	1.13 ▬	1.88 ▬	0.4 ▬	堤内地側 → 天神川	正常

樋門情報提供システムのイメージ

1. 多機関連携型タイムラインの運用

▶ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

① 河川水位とカメラ画像が同時に確認できるように運用支援システム(水位が分かる)を改修

② 外部サイトのリンク追加(樋門情報提供システム、**とっとり雪みちNavi**)



「とっとり雪みちNavi」のリンク追加イメージ

2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- ハザードマップに記載されている**浸水深や避難所等の情報を、標識として「まちなか」に表示**することにより、住民の防災への意識を高めるとともに、浸水深等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動につなげることを目的に、天神川水系の沿川自治体では、まるごとまちごとハザードマップを実施しています。
- 令和5年度は、倉吉市内で自主防災組織により**まるごとまちごとハザードマップが新たに4か所設置**されました。



「まるごとまちごとハザードマップ」とは
 千年に一度起こるかどうかの猛烈な大雨で予想される最大浸水の深さを“まちなか”に表示して、地域の洪水の危険性を知ることによって防災への意識を高めます。

令和5年度は、自主防災組織が想定浸水深看板を設置する経費の1/2を倉吉市が助成する制度を活用し、4箇所の設置がありました。

倉吉市が小中学校などに設置した27施設に加え、自主防災組織の設置が10施設となり、市内計37施設の設置数になりました。※国及び県の設置は含まれていません。



No.	施設名	設置者	想定浸水深
1	上瀬コンパクト・ステーション	見日町自主防災会	5.2m
2	西福守町自治公民館	西福守町自主防災会	2.9m
3	ひかり会館	馬場町自主防災会	1.8m
4	若土自治公民館(中村集会所)	若土自主防災会	2.4m

5m以上
 3m以上5m未満
 3m未満



2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- ハザードマップに記載されている**浸水深や避難所等の情報を、標識として「まちなか」に表示**することにより、住民の防災への意識を高めるとともに、浸水深等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動につなげることを目的に、天神川水系の沿川自治体では、まるごとまちごとハザードマップを実施しています。
- 令和5年度は、倉吉市内で自主防災組織により**まるごとまちごとハザードマップが新たに4か所設置**されました。

上灘コンフォート・ステーション(見日町)



若土自治公民館(若土)



西福守町自治公民館(西福守町)



ひかり会館(馬場町)



3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進

- ▶ 令和元年度より、要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び訓練実施を完了するための取組を加速しています。
- ▶ 各市町の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成状況も上がっています。
- ▶ 今後は、避難確保計画の作成に加え、**訓練実施の支援**も促進する必要があります。

「大規模氾濫減災協議会」の運用について（平成29年6月19日）【抜粋】

7. 協議会での取組事項

(1) ① - 1カ 要配慮者利用施設等における避難確保計画の作成・訓練に対する支援

- ・洪水浸水想定区域内における要配慮者利用施設及び地下街等の立地状況を確認するとともに、市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の避難確保計画及び地下街等の避難確保浸水防止計画の作成状況、訓練の実施状況を確認する。
- ・避難確保計画の作成状況や訓練の実施状況を踏まえ、それぞれの取組を促すための支援策について検討調整する。また、施設職員だけで対応することが難しい場合の地域の支援体制について検討・調整する。

避難確保計画の作成状況

	対象施設数	避難確保計画 作成済み施設数
倉吉市	174	172
三朝町	12	11
湯梨浜町	32	30
北栄町	32	26

避難確保計画に基づく訓練の実施状況

	訓練実施済の 施設数
倉吉市	122
三朝町	5
湯梨浜町	19
北栄町	26

作成数・訓練の実施数は、進捗管理表のアンケート結果より集計（R6.3）

4. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及

- 倉吉河川国道事務所では、近年洪水に関する地域住民の関心が高まる中、積極的に防災講習会を行っています。令和5年度は、倉吉市下田中地区・上灘地区の住民から要望を受けて講習会を実施しました。
- 講習会では、過去の水害写真や洪水浸水想定区域図を用いて各地区の**水害リスク等を説明**しました。また、地区住民の高齢化が進んでいることから、**避難時の留意事項**や**早めの避難行動**を呼びかけました。

倉吉市下田中地区

【実施日】令和5年6月29日(火)

【開催場所】下田中町自治公民館

【参加者】下田中地区住民 35名

【感想】

- ・ 講習を受けてマイ・タイムラインを見直したい
- ・ 改めて防災について考えたい



倉吉市上灘地区

【実施日】令和5年7月7日(金)

【開催場所】上灘コミュニティセンター

【参加者】上灘地区住民 24名

【感想】

- ・ 講習を受けて避難方法を見直したい
- ・ ゲリラ豪雨による内水氾濫が心配だ



5. 小学校を対象とした防災教育の実施

- 倉吉河川国道事務所では、川の防災教育を継続的に実施しており、その取り組みの一環として、倉吉市立小鴨小学校・河北小学校の保護者・教職員に「**天神川の防災(水害)**」について出前講座を行いました。
- 当日は、**天神川の特徴**や**過去の被害**、**浸水想定区域**、**流域治水**の取り組みについて説明を行いました。また、各々の家庭で、水害時の行動計画を立てられるようにするため、**マイ・タイムラインの作成手順**について説明を行いました。

倉吉市立小鴨小学校

【実施日】令和5年6月6日(火)

【参加者】保護者・教職員 約60名

【感想】

- ・ 災害時での対応や避難行動計画を家で確認してみようと思った
- ・ 住む場所の水害の程度が想定でき具体的な逃げ方が分かった
- ・ 改めて水害の恐ろしさを考えることが出来た
- ・ マイ・タイムラインというものを初めて知れたので家族でやってみようと思いました



倉吉市立河北小学校

【実施日】令和5年11月20日(月)

【参加者】生徒 約50名

【感想】

- ・ 珍しい生き物が色々知れた
- ・ 天神川の災害がネットより詳しく知れた
- ・ 天神川の名前の由来が分かった
- ・ 上流にオオサンショウウオがいることが分かった
- ・ 天神川の事がよく分かった



6. 合同点検・操作訓練の実施

- ▶ 天神川水系直轄管理河川に係る洪水時に危険が予測され重点的に点検が必要な箇所(重要水防箇所)について、沿川の自治体(倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町)及び水防団と**合同点検**や情報共有を行いました。
- ▶ 倉吉河川国道事務所では、出水期に備え、非常時における災害復旧作業を迅速に行うことを目的として**災害対策用機械**(排水ポンプ車等)の**操作訓練**を実施しました。

重要水防箇所 合同点検



災害対策用機械 操作訓練



7. 排水対策の実施

- 倉吉市福庭東地区では、近年の豪雨災害で浸水被害が頻発している。倉吉市は、浸水被害を防止するために、北田川に簡易堰を設置しました。令和6年度には、排水ポンプを併用した浸水対策効果検証を実施予定です。
- 倉吉市は、令和4年度末に購入した排水ポンプ車を、令和5年台風第7号で不入岡排水樋門に配備して運用を行いました。倉吉河川国道事務所と連携した排水対策により、西福守地区の浸水被害軽減に貢献しました。

簡易堰の設置(福庭東地区)



簡易堰設置のイメージ

排水ポンプ車の運用(西福守地区)



配備した排水ポンプ車(排水能力：30m³/分)

8. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

- 倉吉河川国道事務所では、氾濫による危険性が特に高い区間において、洪水を安全に流下させるため必要な樹木伐採・河道掘削等を実施しています。
- 令和5年度は、小鴨川(生竹地区)において洪水時に増水した河川水を安全に流下できるように**河道掘削**を実施しました。また、洪水による堤防の侵食を防ぐために**根固め工**を整備しました。

■ 令和5年度事業実施箇所



<河道掘削前>



<河道掘削後>



■ソフト対策

1. 多機関連携型タイムラインの運用
2. まるごとまちごとハザードマップの実施
3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
4. マイ・タイムラインの作成支援
5. 内外水一体型水害リスクマップの作成

■ハード対策

6. 避難所の整備
7. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

1. 多機関連携型タイムラインの運用

- ▶ 天神川水害タイムライン検討会では、出水期でのタイムライン運用を踏まえたアンケート調査を実施し、この結果を踏まえた
 - ①タイムライン詳細版の見直し、
 - ②タイムライン総括版の見直し、
 - ③運用支援システムの改良
 を実施しています。
- ▶ 令和6年度の出水期前を目途に、令和6年度の運用について説明するための検討会の開催を予定しています。

「いつ」

- ・防災行動を行うタイミング(7レベル毎に発表/情報状況)を整理

「何をするか」

- ・行動は、階層別に記載
- ・既存の防災計画等と整合性を踏まえて防災行動を整理

「誰が」

- ・担当機関の防災行動の役割を表示
- ◎：主体的に行動する機関
- ：支援または協働する機関

多機関連携型タイムラインのイメージ

①詳細版：担当者が詳細な対応を確認できるタイムライン

A3サイズ

天神川水害タイムライン詳細版

②総括版：班長等が俯瞰的に作業の漏れがないかを確認できるタイムライン（水位上昇が早い天神川でも、短時間で最低限実施すべき内容がチェックできる）

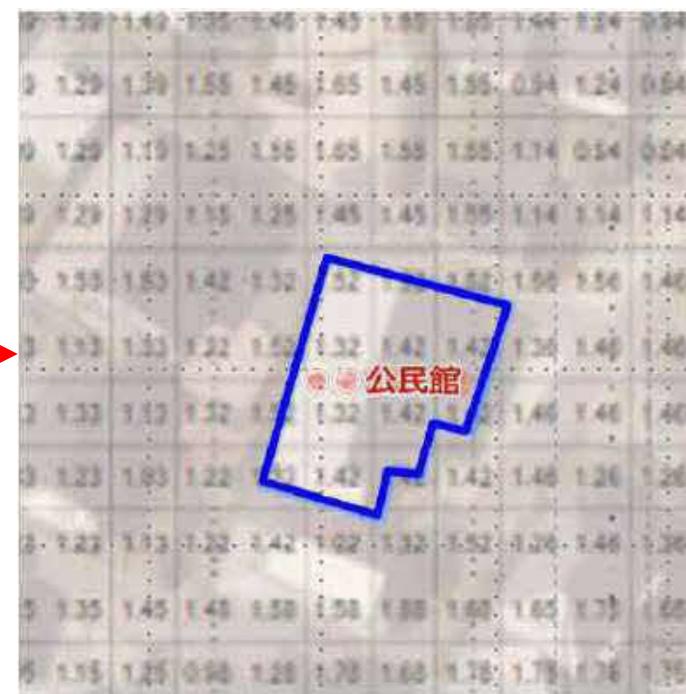
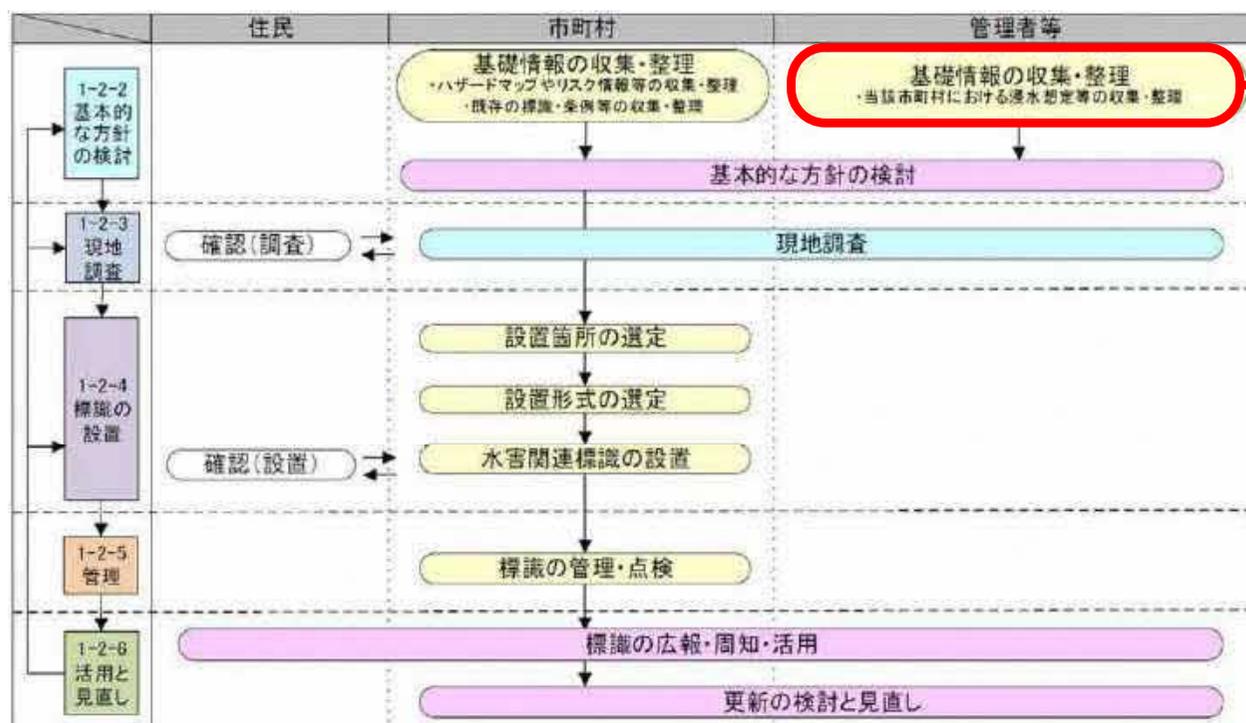


③タイムライン運用支援システム：タイムラインに必要な防災情報を集約したシステム



2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- ▶ 天神川水系では、住民の防災意識向上や浸水深等の普及を目的に、まるごとまちごとハザードマップの整備を進めています。
- ▶ 倉吉河川国道事務所では、天神川流域市町のまるごとまちごとハザードマップ設置を支援するために、依頼があった施設等について、**洪水浸水想定区域の浸水深の確認**等を行っています。
- ▶ 倉吉市は、令和2年度よりまるごとまちごとハザードマップの設置を実施しており、令和4年度から自主防災組織による**標識設置に対する補助金制度**を導入しています。令和6年度も、引き続き**補助金制度を活用した標識設置を予定**しています。



設置予定箇所の浸水深の確認

- 単独実施 : 該当する関係機関がそれぞれ単独で実施する項目
- 分担実施 : 市町村が管理者等と連携しつつ実施する項目
- 共同実施 : 関係機関が共同で実施する項目

実施フロー詳細図 (まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き 第2版 P.5)

3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進

- ▶ 令和元年度より、要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び訓練実施を完了するための取り組みが加速しています。
- ▶ 天神川流域市町の要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成率は高い状況ですが、引き続き未作成の施設の**避難確保計画の作成支援**や**避難確保計画に基づく訓練実施**の支援をお願いします。
- ▶ 参考資料に、**避難確保計画支援動画**及び**避難確保計画の作成・活用に関するリーフレット**を付けております。

争 務 地 部
令和5年4月1日

北海道開発局 水防課管理官 殿
旭川市役所 地域課管理官 殿
各地方整備局 地域課課長 殿
水防官庁連絡センター長 殿
水防官庁連絡センター長 殿
旭川総合事務所 地域課管理官 殿
水防課長 殿

国土交通省水管理・国土保全局
国土交通省水防企画官 課長補佐
水防部防犯計画課地防・大土砂防室 企画専門官

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援資料の周知
及び訓練実施の促進について

要配慮者利用施設において、大雨の際には土砂崩れが原因で避難を行うため、水防法及び土砂防犯防止法では、土砂崩れの土砂防犯計画に定められた要配慮者利用施設に対し、避難確保計画の作成、訓練の実施及びその進捗を市町村長に報告することが義務付けられております。

今後、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練実施を促進するため、避難確保計画の作成支援資料として分かりやすいポイントを中心としたリーフレット及び動画を作成いたしました。施設における訓練の実施にあたっての留意点を盛り込みましたので、合わせて活用する都道府県事務連絡各管内都道府県へ通知し、市町村を通じて施設管理者等に周知を図るとともに、訓練実施を促すようお願いします。

また、国土関係事務所に設置した「災害」推進支援室、においては、民間・公益活動や技術的助言の支援措置を実施しております。

【問い合わせ】
国土交通省水管理・国土保全局
国土交通省水防企画官 課長補佐 内線 354391
国土交通省水防企画官 課長補佐 内線 354371
TEL: 03-5323-8111（代表） FAX: 03-5323-1831
国土交通省水防企画官 課長補佐 内線 354339
TEL: 03-5323-8111（代表） FAX: 03-5323-1819

国土交通省ウェブサイト 要配慮者利用施設に関するお問い合わせ
http://www.mlit.go.jp/river/cousa/2/anami/sugai/juhunhanjiseisaku_hanrei_gensai_suthe02.html

避難確保計画に関する事務連絡

別紙

避難確保計画作成支援動画 「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・確認のポイント」

- 避難確保計画を作成する施設管理者等、及びその計画を確認し助言等を行う市町村職員向けに、避難確保計画の作成又は確認時において、避難の実効性を確保する上で基本となるポイントや注意すべきポイントについて理解を深め、計画の充実・改善を図っていただくことを目的とした学習用動画。
- 国土交通省で公表している「計画様式」や「チェックリスト」に沿って、**項目ごとの留意点について分かりやすく解説**しています。

URL: <https://youtu.be/Va400F33ucs> 【国土交通省YouTube】



【動画の画面例】

**要配慮者利用施設における
避難確保計画の作成・確認のポイント**

令和5年3月
国土交通省水管理・国土保全局
河川課企画課・砂防計画課

【計画様式】

【チェックリスト】

2. 留意リストの確認

留意事項	確認事項	確認結果
避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	○
避難確保計画の確認	避難確保計画の確認	○
避難確保計画の更新	避難確保計画の更新	○
避難確保計画の訓練	避難確保計画の訓練	○
避難確保計画の報告	避難確保計画の報告	○

3. 訓練実施

項目	実施状況	実施時期	実施回数	実施内容
避難確保計画の訓練	○	令和5年3月	1回	避難確保計画の訓練
避難確保計画の報告	○	令和5年3月	1回	避難確保計画の報告

避難確保計画支援動画に関する説明資料(参照資料)

37

4. マイ・タイムラインの作成支援

- ▶ マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理したものです。
- ▶ マイ・タイムラインの作成支援のためのツールとして、「逃げキッド」や「マイ・タイムラインかんたん検討ガイド」、「マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方」などを国土交通省HPで確認可能です。



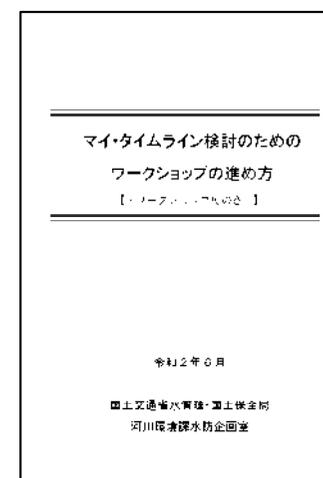
マイ・タイムライン作成支援のためのツール



逃げキッド



マイ・タイムライン
かんたん検討ガイド



マイ・タイムライン検討のための
ワークショップの進め方



逃げキッドを活用したタイムラインの作成方法解説動画(YouTube)



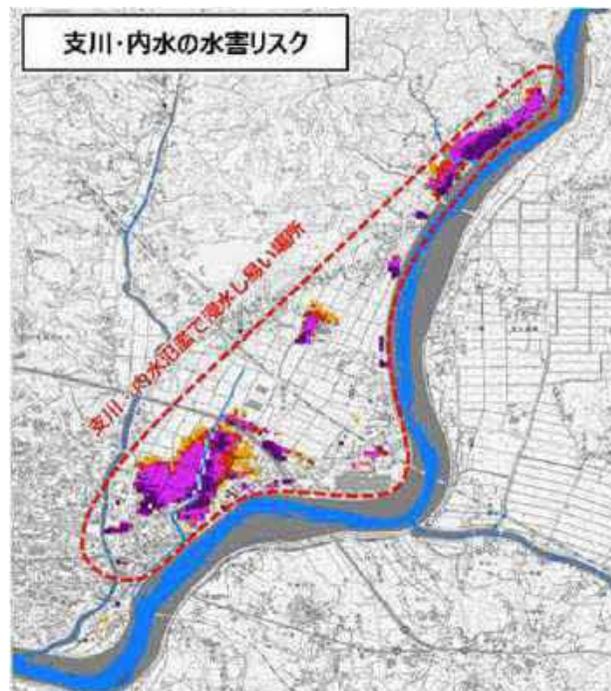
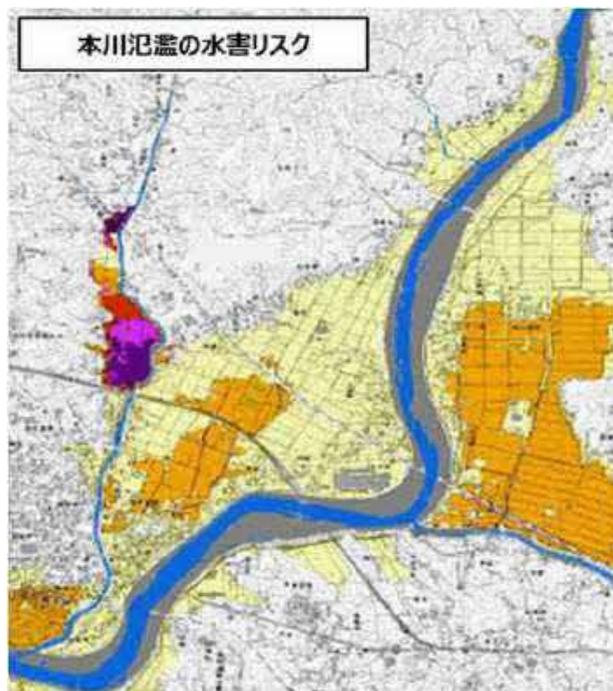
動画：岡谷さんのマイ・タイムライン
(<https://www.youtube.com/watch?v=5RgYuFgeJoo>)

要配慮者マイ・タイムライン

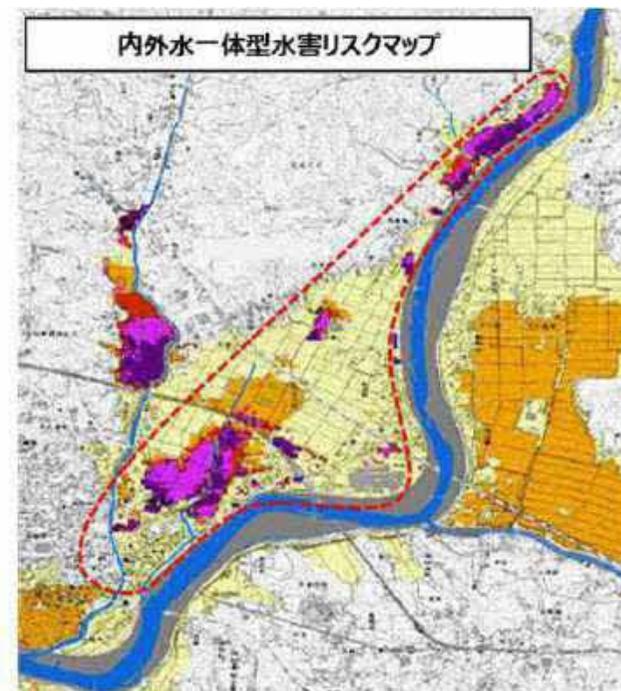
5. 内外水一体型水害リスクマップの作成

- ▶ 現在公表されている洪水浸水想定区域図は、一般的に大河川・中小河川・下水道等の管理者別に作成・提供されており、それぞれが対象としている降雨規模等が異なることから、防災まちづくりの検討や避難検討で必要となる場所ごとのリスク情報を得るうえで十分とはいえない場合があります。

→沿川自治体が水害リスクを評価し、**中～高頻度の被害を軽減する減災対策(防災まちづくり、田んぼダム等)の検討や避難検討(本川氾濫前に支川・内水氾濫により避難し難くなる場所の確認等)に活用**できるように、今後河川管理者が**内外水一体型水害リスクマップを作成する。河川毎ではなく支川や内水(下水道等)も考慮し、浸水しやすい地域や氾濫シナリオなどを検討し、自治体へ水害リスクを情報提供**していきます。



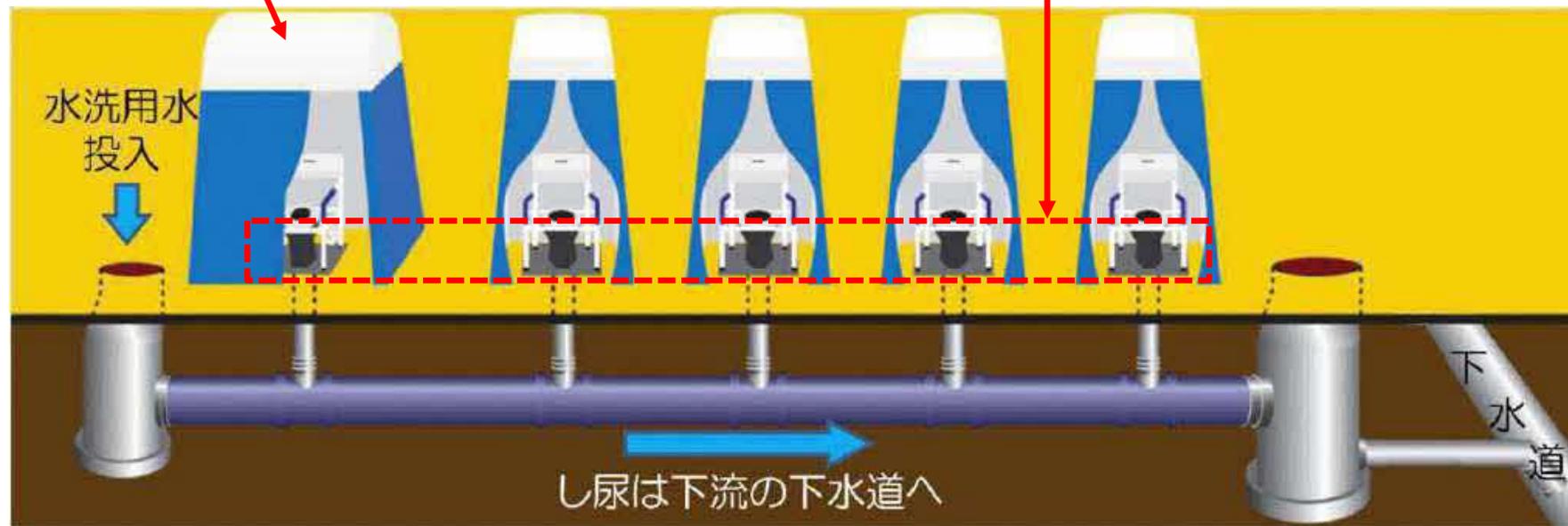
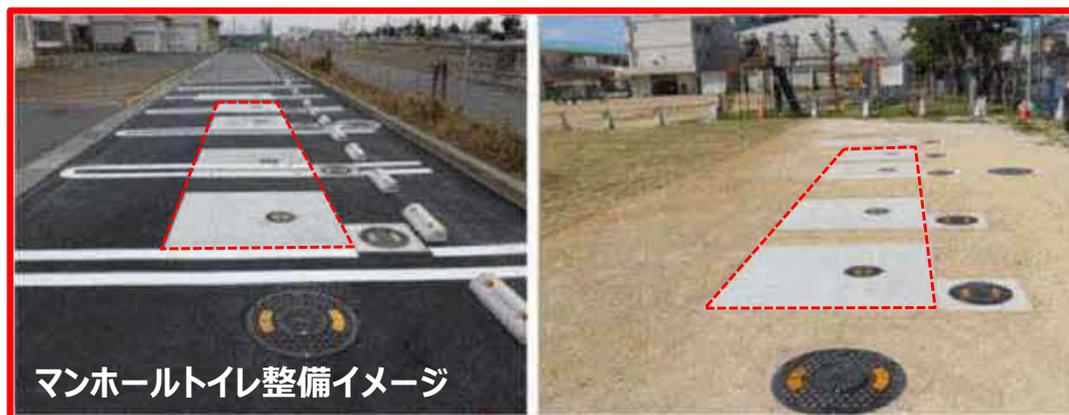
統合



内外水一体型水害リスクマップのイメージ

6. 避難所の整備

- ▶ 天神川水系内で大規模な水害が発生し、多くの住民が避難所に避難する状況に陥った場合、避難者数のキャパシティに対して、既存のトイレ数では不足することが想定されます。
- ▶ 倉吉市は、避難してきた住民に衛生的な環境を提供するために、R6年度からR7年度にかけて市内の全小学校を対象に**マンホールトイレを整備**します(R6年度は、校区人口が多い河北小、西郷小、上灘小、社小、小鴨小学校で実施予定)。



マンホールトイレの構造

7. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

- 気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るために、これまでの河川管理者等による対策でなく、流域のあらゆる関係者の協働によるハード・ソフト一体の水災害対策として「**流域治水**」を推進しています。
- 天神川水系における流域治水の一環として、**小鴨川(生竹地区)**において、**河道掘削**等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

■ 事業箇所

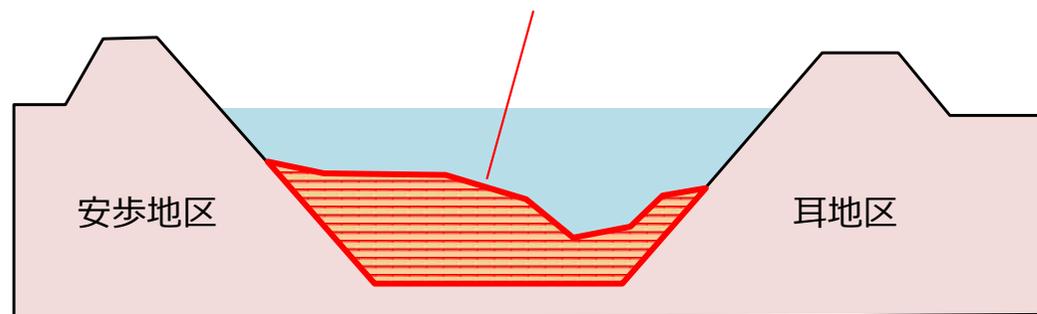
鳥取県倉吉市耳地先

■ 期待される整備効果

河道掘削を実施することで、戦後最大の洪水となる伊勢湾台風(昭和34年9月)が再び発生した場合において、周辺地域の浸水被害の防止が図られます。

【整備イメージ】

河川の断面を広げることにより、洪水を安全に流す能力が向上する。



■ 令和6年度 事業実施箇所





日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

規約の主な改正点

- ・ 人事異動等による協議会及び幹事会構成員の役職、事務局の変更

①協議会構成員 鳥取県危機管理部の役職変更

※鳥取県 危機管理局長 → 危機管理部長

②幹事会構成員 鳥取県危機管理部の役職変更

※鳥取県 危機管理局 副局長兼危機管理政策課長 → 鳥取県 危機管理部 次長兼危機管理政策課長

③事務局 鳥取県県土整備部の変更

※鳥取県 県土整備部 河川課 → 鳥取県 県土整備部 河川港湾局 河川課

日野川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会 説明資料

1. これまでの検討経緯・・・・・・・・・・P45
2. 令和5年度の主な取組内容・・・・・・・・P46
3. 令和6年度の主な取組予定・・・・・・・・P59

別紙:各取組項目におけるスケジュール

第13回 日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

これまでの検討経緯

第1期

- 平成28年7月 ○ 「日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」設立
- 平成28年8月 ○ 「日野川流域の減災に係る取組方針」策定
- 平成29年5月 ○ 減災対策協議会1回開催：フォローアップ他
- 平成29年6月 ○ 緊急行動計画
- 平成29～31年 ○ 減災対策協議会3回開催：行動計画反映、タイムライン検討会発足
- 平成31年1月 ○ 緊急行動計画の改訂
- 令和元～2年 ○ 減災対策協議会2回開催：ダム部会設置、フォローアップ 他

第2期 (現在)

令和3年6月 ○ 第9回減災対策協議会：今後5カ年（令和3～7年度）の取組方針

【5年間で取り組む項目】

- ①逃げ遅れゼロにおけた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- ②一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動等の取組
- ③防災意識の向上を図るべく防災教育(学習)拡充のための取組

令和3年10月 ○ 第10回減災対策協議会：規約改正

令和4年5月 ○ 第11回減災対策協議会：令和3年度フォローアップ

令和5年5月 ○ 第12回減災対策協議会：令和4年度フォローアップ

令和6年6月 ○ 第13回減災対策協議会：令和5年度フォローアップ



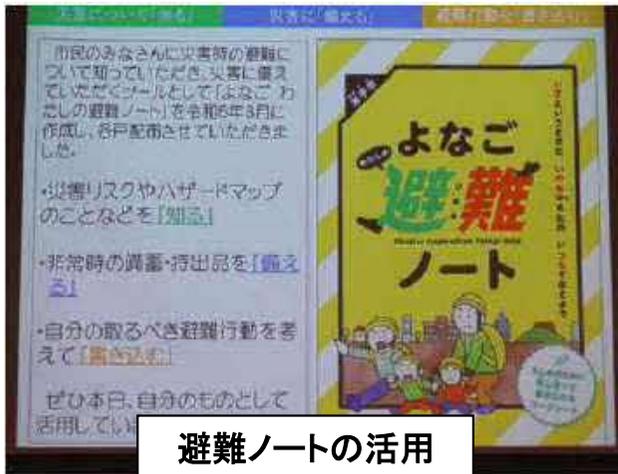
第12回協議会

1. よなご避難ノートの啓発講座
2. 避難所用品の購入、防災講演会・水防研修の実施
3. 水防資機材を使用した訓練の実施
4. 水防資機材の整備とその情報共有
5. 日野川水害タイムライン検討会
6. 小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
7. 気象キャスターによるマイ・タイムライン講座での水害(防災)教育の拡充
8. 排水計画に基づく排水訓練等の実施及び参加

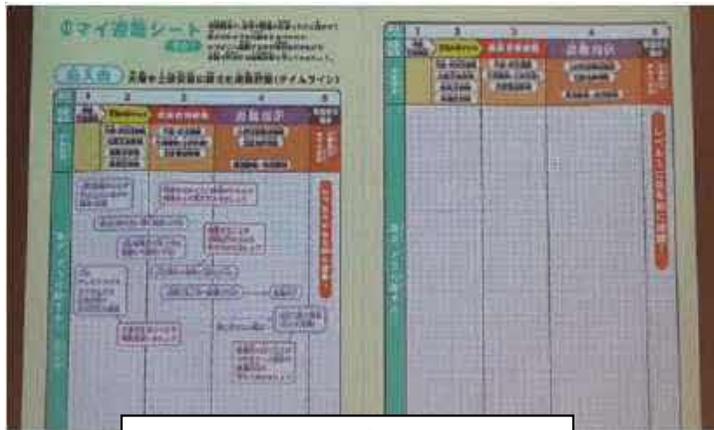
1. 令和5年度の主な取組内容

・**具体的取組** ○避難スイッチの取組・タイムライン作成支援のため、『よなご避難ノート』の使い方、書き込み方など啓発講座を行った。

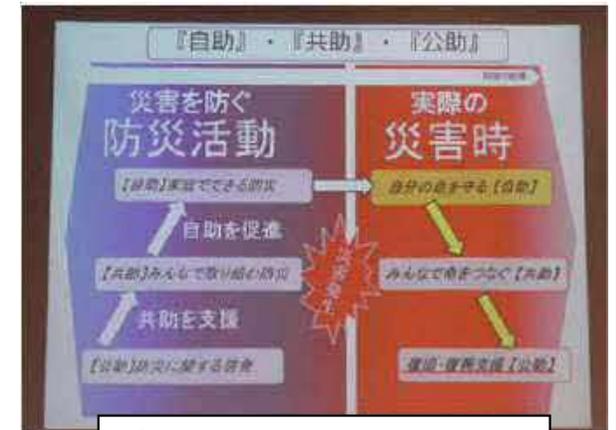
- 「よなご避難ノート」普及活用のため、主に高齢者中心でのコミュニティである市民講座「米子人生大学」において、総合的な普及講義を行い、周知と計画作成の啓発を行った。



避難ノートの活用



タイムライン(書き込み式)



自助・共助・公助 フロー図



避難行動と警戒Lvの一コマ



会場全景 令和5年10月9日(日) 米子市文化ホールにて

・避難所用物品の購入、防災講演会・水防研修の実施

- 避難所用物品等の購入
 - ・ ポータブル蓄電池 1台（フル充電時 ノートPC118時間、スマホ充電約300回分）
 - ・ 避難所用ベッド 約50台
 - ・ 土嚢袋 500枚
- 地域等での防災講演会の実施
 - ・ 食生活改善推進委員、伯耆町赤十字奉仕団、ロイヤルシティ大山リゾート等 計5回
- 職員向け水防研修の実施



赤十字奉仕団への講演の様子



避難所用ベッド



救助艇研修の様子

・水防資機材を使用した訓練の実施

- 村防災訓練の想定災害の設定を「風水害」として実施。
- 消防団の訓練として、救助用ゴムボート及び排水ポンプ等を使用した、救助及び排水訓練を併せて実施。



小学校プールを利用し、救助用資機材訓練

・水防資機材等の整備とその情報共有

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。



・水防資機材等の整備とその情報共有

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。

備蓄資材及び備蓄土一覽表 (R5年4月現在)

日野川河川事務所 非常時 備蓄資材 調書 (日野川管理室 資材倉庫)

令和5年4月1日現在

資材名称	規 格	備蓄数量		支所在庫		備 考
		出張所	普沢ダム	合 計		
土のう袋		20,400		20,400	袋	袋
土のう袋	耐候性	500		500	袋	袋
大型土のう		20		20	袋	袋
大型土のう	耐候性	280		280	袋	袋
オートフック	5 t吊り用	2		2	基	基
ビニールシート	5.4m×2.7m	30		30	枚	枚
ビニールシート	5.4m×3.6m	20		20	枚	枚
金串	直径16mm 長さ1.2m	190		190	本	本
金串	直径16mm 長さ1.8m	50		50	本	本
二子縄		12		12	巻	巻
鉄線	10#亜鉛メッキ	400		400	m	m
軍手		2		2	打	打
掛矢		4		4	丁	丁
ペンチ		5		5	丁	丁
アングルカッター		5		5	丁	丁
シノ		6		6	丁	丁
タコ		2		2	本	本
スコップ		89		89	本	本
手ノコ		6		6	丁	丁
大ハンマー		3		3	丁	丁
かま		5		5	丁	丁
かま		7		7	丁	丁
一輪車		5		5	台	台
つるはし		5		5	丁	丁
トラロープ		1		1	丁	丁
ひしゃく		7		7	個	個
水能マット		2		2	枚	枚
水防マット		2		2	枚	枚
オイルフェンス	ナスコC3-A	4	15	19	本	15 本 20m/本
オイルフェンス	ナスコクレモナフェンス	4		4	本	本 20m/本
オイルフェンス	スミレイ 直径7.5cm×10m×2本	11	6	17	箱	6 箱
オイルマット	スミレイロングマット (20m)	4		4	箱	箱 20m/箱
オイルマット	スミレイロングマット (10m)	1		1	箱	箱 10m/箱
オイルマット	スミレイ万面旗型 22枚 (一連)		6	6	箱	6 箱
オイルマット	もりの木太郎 (20枚入り)	20		20	箱	箱 20枚/箱
オイルマット	タフネルオイルプロッター BL-50	3	9	12	本	9 本 100枚/箱
オイルマット	タフネルオイルプロッター BL-65		1	1	本	本 100枚/箱
オイルマット	αブルー1000シート	27		27	箱	箱 50枚/箱
オイルマット	オイルブロックマットタイプ	1		1	箱	箱 12枚/箱
ゲル化剤	マイティゲルライトMG-2000	2		2	缶	缶
ゲル化剤	マイティゲルライトMG-1650	2		2	缶	缶
粉末油吸吸剤	オイルスポンジペールタイプ	6		6	缶	缶
洗浄液	SC-1000	3		3	缶	缶
Bee Bee Worker		6		6	個	個
ゲル化剤散布機		1		1	台	台

■備蓄土

位置(地先名)	距離標(km)	完成年度	整備内容	関係市町村
日野川 右岸 (富吉地先)	1.8 ~ 1.9	S63	L=100m, B=9m, A=900m ² , V=1,400m ³	日吉津村
日野川 左岸 (皆生地先)	2.0 ~ 2.2	H2	L=200m, B=20m, A=4,000m ² , V=17,000m ³	米子市
日野川 左岸 (福市地先)	5.3 ~ 5.4	S62	L=80m, B=7m, A=560m ² , V=1,000m ³	米子市
日野川 右岸 (八幡地先)	7.7 ~ 7.8	H元	L=120m, B=6m, A=720m ² , V=1,800m ³	米子市
法勝寺川 左岸 (宗像地先)	1.1	H元	L=50m, B=6m, A=300m ² , V=500m ³	米子市

■ブロック

位置(地先名)	距離標(km)	備蓄内容
日野川 右岸 (日吉津村富吉地先)	1.8	六脚ブロック3t型(3.41t) 91個、ストーンブロック74t型(3.6t) 23個
日野川 左岸 (米子市福市地先)	4.7	土のう 500体、六脚ブロック2t型(1.98t) 25個、六脚ブロック3t型(3.41t) 22個、三連ブロック4t型(3.89t) 52個
日野川 左岸 (伯耆町宇代地先)	14.6	三連ブロック4t型(3.89t) 78個

第8回 日野川水害タイムライン検討会

令和5年6月8日(木)

国土交通省 日野川河川事務所 (13:30~15:00)

-次第-

- 1.開会挨拶
- 2.日野川水害タイムラインの概要
- 3.日野川水害タイムラインの運用について
- 4.日野川水害タイムラインの読合せ
- 5.令和5年度出水期の運用に向けた留意事項
- 6.連絡事項
- 7.質疑応答
- 8.講評
- 9.閉会挨拶

令和5年度の出水対応に向けて、タイムラインの運用や各機関の防災行動について確認することを目的とした第8回検討会を開催しました。

◆参加機関

米子市	防災安全課、道路整備課、 学校教育課、水道局	交通 機関	JR西日本㈱、日ノ丸自動 車㈱
伯耆町	総務課、地域整備課	ライフ ライン	中国電力ネットワーク㈱、 米子ガス㈱
南郎町	総務課、建設課、健康福祉課	通信イン フラ	NTT西日本㈱
日吉津村	建設産業課、教育委員会事務局	報道 機関	山陰中央テレビジョン放送 (株)、(株) DARAZコミティ 放送
鳥取県	河川課、米子具土整備局、警察 本部、米子警察署、黒坂警察署、 西部広域行政管理組合消防局	国土 交通省	倉吉河川国道事務所、 日野川河川事務所
気象庁	鳥取地方气象台	出席：17機関 39名	
福祉施設	なんぶ幸福苑、 米子ワークホーム		

◆タイムラインの読み合せ

＜第7回検討会で挙げられた意見を踏まえたタイムラインの改善方針＞

テーマ	改善方針
①出水時の情報 統制について	✓タイムライン策定以降、本格的な出水が 発生していないため、まずは重要行動項 目とそれに関する情報を読み合わせにて 確認。
②タイムライン レベル発動・移 行時の情報発信 内容について	✓タイムラインレベル発動・移行時のメー ルへ「次のメール発信予定」を記載し、 関係機関が次の行動を取る目安の情報を 継続的に発信。
③タイムライン 解説動画、学習 サイトについて	✓タイムラインの引継ぎに活用できるツ ールとして、タイムライン解説動画、学習 サイトを構築。
④オンライン 情報共有に ついて	✓出水時は各機関の防災対応で忙しいため、 関係機関が参加しやすい台風説明会との 同時開催で運用。
⑤マルチ画面 お気に入り機能 について	✓スマートフォン対応として、画面分割効 も選択できるお気に入り機能を追加。

・令和4年12月に開催した第7回検討
会で挙げられた意見を踏まえたタ
イムラインの改善方針に基づき、
タイムラインの読み合せを実施。

- 読み合せ(1)自機関の行動項目、
各機関が発信する情報の確認
- ▶タイムラインのレベル毎に、防災行動の
全体像や、自機関の行動項目、各機関が
発信する情報を確認
- 読み合せ(2)タイムラインの運用・活用方法
- ▶テーマ②～⑤の改善方針について事務局
より説明



＜タイムラインレベル毎のイメージする状況＞



＜検討会の様子＞

◆タイムラインの概要、運用方法の確認

- ・出水期に向けたタイムラインの確認や、新任の方に理解を深めて頂く
ことを目的として、タイムラインの概要や運用方法を事務局より説明。
- ・タイムラインの引継ぎツールとして作成した**タイムライン解説動画**を
用いて説明。(動画は日野川河川事務所YouTubeに後日アップロード予定)

＜タイムラインの概要、 運用方法の確認内容＞

- ✓タイムラインとは
- ✓タイムラインが想定する浸水被害
- ✓立ち上げ・レベル移行基準の修正案
- ✓タイムラインの活用場面 等



◆講評



鳥取大学 黒岩教授

- ▶出水時の情報共有を的確に行うため
には、タイムラインについて平時から理
解を深めて頂くことが重要である。
- ▶今後も関係機関に意見を頂きながらタ
イムラインをブラッシュアップし、人
命や財産の保全に努めて頂きたい。



鳥取大学 三輪教授

- ▶タイムラインの運用においては、
多くの機関から発信される情報を
収集・活用することが重要である。
- ▶新しい担当の方もタイムラインを
確認して頂き、「逃げ遅れゼロ」
を目指して尽力して頂きたい。

◆まとめ

- ・令和5年度の出水期への備えとして、**タイムラインの概要や運用方法、各レベルにおける防災行
動の全体像や自機関の防災行動を確認**することができた。
- ・本検討会の意見を踏まえてタイムラインをブラッシュアップし、各機関における**出水対応の円滑
な実施**を目指す。

第9回 日野川水害タイムライン検討会

令和5年12月7日(木)

国土交通省 日野川河川事務所 (10:00~12:00)

-次第-

- 1.開会挨拶
2. 令和5年度の振り返り
- 3.事前アンケート結果について
- 4.状況付与に基づく連携課題の抽出
- 5.連絡事項・質疑応答
- 6.講評
- 7.閉会挨拶

令和5年の出水対応の振り返り、タイムラインのブラッシュアップに向けた課題・解決策の検討を目的として、第9回検討会を開催しました。

◆参加機関

出席：20機関 32名

米子市	福地施設
防災安全課、水道局	なんぶ奉親苑、よなご大平原
伯耆町	ライフライン
総務課	中国電力ネットワーク㈱、米子カス㈱
南都町	交通
総務課	西日本旅客鉄道㈱
鳥取県	通信インフラ
危機管理政策課、河川課、米子県土整備局、米子警察署、鳥取警察署、西部広域行政管理局合同消防部	NTT西日本㈱
気象庁 鳥取地方気象台	報道機関
防衛省 陸上自衛隊	㈱DARAZコミュニケーション放送
	国土交通省 日野川河川事務所

<検討会の様子> 対面+Web会議併用で開催



◆令和5年出水期の振り返り

- 令和5年出水期における中国管内の出水概要、台風7号による鳥取県内の被害状況を共有した。
- 日野川においては、**タイムラインを計4回発動し、うち2回はレベル1に到達したものの、大きな被害は発生しなかった。**

<タイムラインの発動状況>

	期間	要因	レベル到達
①	6/30~7/1	梅雨前線への警戒	レベル注意
②	7/7~10	梅雨前線への警戒	レベル注意
③	7/13~14	梅雨前線への警戒	レベル1
④	8/14~16	台風第7号	レベル1

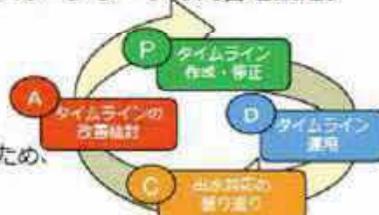
◆事前アンケート結果

- 事前に関係機関に実施した令和5年出水期振り返りアンケート結果を共有した。
- アンケートでは「**台風7号により鳥取市等では孤立被害が発生したが、未然に防ぐために早めの住民避難が必要**」との意見が挙げられた。

◆状況付与に基づく連携課題の抽出

- 令和5年出水期は日野川では大きな被害が無かったが、鳥取県内では孤立等の大規模な被害が発生したことを踏まえて、以下の通りグループワークの内容を設定。

タイムラインのPDCAサイクルにおける“D”が今年の出水期は無かったため、“D”“C”“A”をグループワークで実施



グループワーク内容	PDCAサイクル
① 状況付与	D: タイムライン運用
② 状況に関連する防災行動項目の確認	D: タイムライン運用
③ 連携に関する課題抽出	C: 出水対応の振り返り
④ 解決策の整理	A: タイムラインの改善検討
⑤ 全体意見交換	A: タイムラインの改善検討

<グループワークの様子>



連携に関する課題を付箋に書き出し



<グループワークで挙げられた課題と解決策>

グループ	課題	解決策
住民の避難・救助	レベル4,5で実施する対応のイメージ不足	訓練の実施 台風7号の被害状況を鳥取市から共有
	情報を共有する機関の拡充	気象防災オンライン会議への参加機関の追加
	水害に対する住民の意識低下	水害リスクの周知 地区の活動活性化・防災教育の実施
	線状降水帯による急な水位上昇への対応	避難情報の的確な発令判断
交通途絶	リアルタイムの情報共有	情報共有手段として台風説明会・危機感共有会議、気象防災オンライン会議をタイムラインへ追記
	鉄道事業者としての住民避難支援	住民の避難先としての駅舎や車両の開放を検討
ライフラインの停止	復旧ルートに係る道路情報の入手	道路情報を入手するスキームを県+市町村へ拡充
	情報入手先が複数にわたる場合の混乱	情報の入手先を一本化

◆講評

- タイムラインは関係機関の行動が見えるようになっており、タイムラインを通じて他機関との連携に必要なことを考えて頂きたい。
- 関係機関の皆さんからの改善意見によってタイムラインはより有用なものになるので、積極的な活用と改善意見の提示をお願いしたい。



鳥取大学 三輪 隆典

◆まとめ

- 台風7号当時の被害・対応状況を鳥取市から情報提供して頂き、実際の流れに基づいて訓練ができると**実対応の流れがイメージ**できて有意義。
- タイムラインは各機関のマニュアルから防災対応を抽出して整理したものであり、タイムラインへの項目の追加や自機関のマニュアルの変更点の反映が無いか確認し、令和6年度出水期に向けてタイムラインを改善。

・小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充

- 令和5年9月15日(金) 米子市立車尾(くずも)小学校において、小学4年生4クラスの児童へ向けた出前講座「水防災学習」を実施しました。
- 今回の学習では、車尾小学校校区の全域が浸水域にあることから、ハザードマップを使って日野川・法勝寺川が氾濫するとどのくらい浸水するか。どこに避難するか。を確認し、「逃げる」ことが重要だと理解してもらいました。
- 児童からは、避難の時にどこに逃げるといいか?台風の情報はどのように検索すればいいか?などの質問がでる等、熱心さが伝わってきました。

講義の様子



・小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充

- 令和5年11月8日(水) 伯耆町立岸本小学校において、小学4年生2クラスの児童へ向けた出前講座「水防災学習」を実施しました。
- 今回の学習では、岸本小学校校区が浸水域にあることから、日野川の洪水被害、平成30年の出水状況などを説明するとともに、ハザードマップを使って日野川が氾濫するとどのくらい浸水するか、どこに避難するかなどを確認し、自分の命を守るためには、「逃げる」ことが大切で、事前に情報収集や準備をしておくことを学習してもらいました。
- 児童からは、避難の時にどこに逃げるといいか?台風の情報はどのように検索すればいいか?などの質問がでる等、熱心さが伝わってきました。

講義の様子



・気象キャスターによるマイ・タイムライン講座での水害(防災)教育の拡充

- 令和6年3月17日(日) 米子コンベンションセンターにおいて、流域治水プロジェクトの一環としてマイ・タイムライン講習会を開催し、日野川流域の住民約30名が参加しました。
- 講師は次のとおり、
 - 福田歩美気象キャスター (NHK松江「しまねっとNEWS610」に出演)
 - 町田朱里気象キャスター (日本海テレビ「おびわんっ!」・「ニュースevery日本海」に出演)
- 参加者には、「逃げキッド」を使用し、自分の住んでいる所の浸水深や家庭の状況・避難先を考えて、それぞれの「マイ・タイムライン」を作成しました。
 - 参加者が考えた自分の準備事項
 - ・貴重品を浸水しない2階に上げておく
 - ・車を浸水地域でない会社の駐車場に移動する



福田歩美 気象キャスター

- 日野川の水害リスク
- 最近の気象災害
- 様々な防災情報



町田朱里 気象キャスター

- マイ・タイムラインとは
- マイ・タイムラインの作成



【逃げキッド】



•排水計画に基づく排水訓練等の実施及び参加

- 「災害時の応急対策に関する協定」の締結協力事業者を対象に、災害対策機械の操作訓練を実施し、操作の習熟度向上を図る。

災害対策機械訓練状況(令和5年6月17日)

照明車訓練(令和5年度)



排水ポンプ車訓練(令和5年度)



1. よなご避難ノートの啓発講座
2. 避難所用品の購入、防災講演会・水防研修の実施
3. 水防資機材を使用した訓練の実施
4. 水防資機材の整備とその情報共有
5. 日野川水害タイムライン検討会
6. 小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
7. 気象キャスターによるマイ・タイムライン講座での水害(防災)教育の拡充
8. 排水計画に基づく排水訓練等の実施及び参加